

横浜市立科学技術高校（仮称）の校名候補について

市民活力推進・教育委員会資料
平成19年5月22日
教育委員会事務局

平成21年4月開校予定の科学技術高校（仮称）の校名候補について、
公募により寄せられた案の中から、選考の結果、

「横浜サイエンスフロンティア高等学校」

とし、今後、広報活動等に使用してまいります。

【公募の概要】

- 公募期間：平成18年12月1日～平成19年1月5日
- 応募者数：34名
- 応募名称案：159件

【選考の理由】

- 横浜の教育改革の先導的な役割を担う学校であるという視点から考えて、「横浜」の名を冠していること。
- 科学技術高校（仮称）の教育理念、特色等を端的に表現していること。
- 京浜臨海部の「横浜サイエンスフロンティア地区」に立地することをアピールしていること。

*校名が正式となる横浜市立学校条例の一部改正は、学校設置の認可申請等に向けて、平成20年第3回定例会においてお諮りする予定です。

【参考】

1 横浜サイエンスフロンティア高校

横浜サイエンスフロンティア高校は、生命科学やナノテクノロジーなど、先端科学技術分野の「ほんもの体験」を通し、理数科目を重点とした学習を充実させ、難関大学への進学に対応できる高い学力を身につけることのできる高校とします。

大学や企業の研究機関などと連携し、新たな教育の実践に取り組むとともに、全ての市立学校における教育改革をリードする学校を目指します。

(1) 学校の概要

所在地	横浜市鶴見区小野町6番地 JR 鶴見線：鶴見小野駅下車徒歩3分
課程・学科	単位制による全日制課程 理数科
生徒数	1学年：240名（6クラス）、全校720名を想定
通学区域	横浜市内全域 *一部については市外（県内）も対象

(2) 施設の概要

施設規模	敷地面積：約29,200㎡ 延床面積：約25,000㎡
建物概要	鉄筋コンクリート造、地上5階 *全ての学習諸室に冷暖房を完備
学習諸室	生命科学諸室、ナノテック・材料諸室、環境諸室、情報諸室、普通教室等
共用施設	ホール、カフェテリア、セミナーハウス、交流センター、図書室等
管理諸室	校長室、事務室、職員室、進路相談室等
屋内体育施設	アリーナ、柔・剣道場、トレーニングルーム等
屋外施設	グラウンド、屋上プール、天体観測ドーム、ビオトープ等

2 開校に向けた今年度の主な取り組み

(1) 高いレベルの教育水準の確保

- ア 「ほんもの体験」をきっかけとした理数科目の充実
 - ・教育課程編成、単位数の決定に向けた調整
- イ 優秀で意欲ある教員の配置、教員養成
 - ・都立両国高校、慶應義塾高校、桐蔭学園高校への教員派遣（1年間）
- ウ 平成20年度の入試事務などの開校準備に対応
 - ・開設準備室設置に向けた調整

(2) 特色ある教育にふさわしい生徒の確保

- ア 市内全中学校へのPRキャラバン隊の訪問
- イ 中学生及び保護者を対象とした学校案内イベント（記念講演を含む）の開催（9月）
- ウ 学力重視の視点からの入学者選抜方法の検討（前期選抜20%、後期選抜80%を想定）

(3) 広報活動

- ア シンボルマークの公募や制服の検討などCI戦略的な広報の推進
- イ 「高校展」などを利用したPR
- ウ ポスターやニュースレターの製作

(4) 学校施設整備（PFI事業の推進）

- ア 施設整備にかかるPFI事業者との調整
- イ 教育内容を踏まえた学習諸室整備の調整及び先端科学技術4分野の什器備品の選定